



WELFARE SERVICE APPRAISAL REPORT

(福祉サービス第三者評価 評価結果報告書)

P' S スマイル保育園

神奈川県横浜市鶴見区

【評価対象種別】 保 育 所
【評 価 方 法】 横浜市版
【評 価 年 度】 平成 27 年度

■実施概要	p.1
■総合評価	p. 2-5
■分類別評価結果	p. 6-21
■利用者家族アンケート 結果概要	p. 22-37
■利用者本人調査 結果概要	p. 38-39
■事業者コメント	p. 40

Date of issue : March.28,2016

Bureau Veritas Japan Co., Ltd.

実施概要

事業所名	許可保育所 P' Sスマイル保育園
報告書提出日	2016年 3月 28日 (評価に要した期間 約5ヶ月)
評価機関	ビューローベリタスジャパン株式会社

評価方法

1.自己評価 ■実施期間 2015年11月26日～ 2015年12月25日	自己評価には各保育士が参加し、職員会議などで結果を話し合い、その結果を園長、主任、法人でまとめました。
2.利用者家族アンケート調査 ■実施期間 2015年11月26日～ 2015年12月15日	利用者 54名全員の家族を対象としたアンケート調査の実施をしました。アンケート用紙を配布し、締め切りまでの20日間に評価機関宛ての返信用封筒を使用して直接投函により回収しました。
3.訪問調査 ■実施日 1日目…2016年1月27日 2日目…2016年1月29日	法人に用意願った事前資料と園の全職員で合議した自己評価および、利用者家族アンケートの集計結果に基づいて、2日間訪問し、園内施設や環境の見学、保育の観察とともに、園の取り組みを評価領域に沿って法人職員の同席のもと、聞き取りしました。園長はじめ新人保育士、非正規保育士、調理担当および看護師職員の対応で説明を受けて、具体的な取り組みを把握し、評価調査員で合議を行いました。
4.利用者本人調査 ■実施日 1日目…2016年1月27日 2日目…2016年1月29日	訪問調査の2日間で、保育およびリズム体操などの合同保育を観察しました。また、昼食の食卓に同席した場面では、好きな遊びや食事、お友達の話聞くことができました。

□ 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項）

【施設の概要】

- ① 園はJR鶴見駅ビルの6階に開設しています。法人の方針である「にんげん力」を育む思いから千葉大学工学部柳沢研究室（教育施設の空間設計で実績がある）が子どもの行動調査に基づいて設計し、(株)ポケモンの協力を得て創られた保育空間で、野外体験に匹敵する子どもたちの好奇心や主体的な遊びを引き出すためのスペースが工夫されています。ビルの天井高を活かして丸く広いフロアの中央には、らせん階段をシンボルツリーに見立てロフトフロアは森の中の探検スペースのように設えています。床から天井までの壁を一部活用してクライミングウォールと登り棒を設置しています。また駅ビルの屋上では菜園を設けて畑仕事も行っていきます。
- ② 開放感ある広いスペースの園ではありますが、毎日の散歩や戸外活動としては園バスで移動して姉妹園の鶴見どろんこ保育園の広い園庭で、どろんこ遊びややぎ・鶏の世話など自然とのふれあいを日常化する時間がもたれています。また、一人でも多くの人と挨拶を交わし、一つでも多くの仕事を目にする機会としては、「散歩中にすれ違う全ての地域の人」に挨拶を交わすことを約束としています。地域の大人との交流を通じて、「人の目を見て意思を伝えられる人」を目指し、商店街ツアーや銭湯の日など多くの体験により、コミュニケーション力を育てています。
- ③ 当園は、リーダー2名を含む15名の保育士体制（1・2歳児の各クラス担当保育士3名、3・4・5歳児の各クラス担当保育士2名、看護師、栄養士、調理士各1名）で54人の保育を行なっています。子どもの成長の先を見据えて真に必要な体験を日常の保育の中で実行しています。朝の会では座禅と雑巾がけをおこない、心を静めて一日をスタートします。園内や姉妹園の園庭では裸足で過ごし、畑仕事や動物の世話や生き物とのふれあい、どろんこ遊びなど自然の素材から遊びを創り出しています。
- ④ 保護者には子どもの保育園の様子がありありと分かるように伝えることで保護者と協働の子育てを目指しています。ホームページには園での様子を写真でタイムリーに掲載し、毎日の連絡帳で24時間の状況を共有に努め、毎日降園時には3分間はお話しすることで保護者の子育てに役立てています。
- ⑤ 法人は、園の職員が保育に専念できることに重点をおいて、業務マニュアルや年間スケジュール、共用できる各種園だよりのフォーマットなど事務機能を担っています。バックアップ体制としては、本部のエリアマネージャーの内部監査機能や支援体制、職員育成計画としての法人の全職員を対象とした職層別や目的別の職員研修、職員の自己啓発目的での外部研修参加および他園視察、外国インターシップへの奨励および、表彰制度も行っています。

【優れている点】

1. 豊富な体験から子どもたちの自立心を引き出し、自分で考え行動する力を育てています

保育士は常に優しく温かく子どもたちに接しています。乳児の時から、保育士がしっかりと抱き留め、安心感と信頼感が持てるようにしているため、子どもたちは、年齢を重ねるごとに集団での過ごし方を自然に身に付け、安心して自分のしたいことを探し、表現できるまでに成長しています。1歳児は専用の保育スペースを確保し、五感を使って色々な物を見て触って感じることを大切にしています。2歳児は運動会が終わる秋の頃から、3、4、5歳児と同じフロアでの保育を体験し、徐々に慣れていくようにしています。仕切りのない部屋はお互いの姿が見えるため、時には真似したり、時にはライバルか兄弟のような雰囲気になったりと、刺激し合って生き生きと過ごしています。一つのフロアで過ごす体験で、年齢別保育では体験できない刺激を受けて子どもたちは成長しています。日々の保育では、裸足保育や体育指導の充実で健康増進を図ると共に、興味や関心を満たすことができるようにしています。発表会では、劇や合奏、ダンスなど練習の成果を発表して多くの拍手を貰っており、その体験から自信を持って行動できるようになっています。ビルの中の園ですが、天気の良い日は毎日のように散歩に出かけ、公園や社寺、商店街散策やビルの地下にあるお店見学などに出かけています。屋上の専用スペースでの栽培や外気浴も楽しんでおり、ボディペインティングで劇の背景を作ったこともあります。系列園へ出かけ、広い園庭での木登り、ヤギや鶏の飼育を身近で体験する機会もあります。日々の保育では、保育士が過剰に手を貸すことを避け、上達を褒めることで子どもたちの意欲につなげ、挑戦する心を育てており、豊富な体験から自分で考え行動する力を身につけています。

2. 職員が連携し、今年度の重点目標「笑顔で挨拶、好奇心を持って主体的に行動する、相手を思いやりながら自分の気持ちを表現する」の実現をめざしています

園長は職員会議で園の理念について説明するとともに、自身の保育への思いを職員に伝えています。日々の保育の様子を見守り、気になることがある時には保育に入ったり、声をかけたりし、職員を指導しています。休憩時間等にも職員とコミュニケーションを取っており、職員からは頼りになる師であり、姉のような存在となっています。そのような取り組みを通して園長の思いや、考え方が職員に浸透しており、専門職の知恵を集め、職員全員で保育に取り組む体制ができています。職員間のコミュニケーションはよく、経験も年齢も違う保育士が、相談しアドバイスし合う関係ができています。日常の保育においては、クラスの状況や子どもの様子などを、保育士、看護師、栄養士が参加する職員会議等で情報交換し、対応について話し合いを重ねています。障害を持つ子どもや配慮の必要な子どもの支援、保護者との連携、健康教育や食育活動等に関しては法人本部の強力な支援があり、法人主催のスキルアップ講座等職員研修の充実も、直接園運営に携わる園長、職員には心強い状況です。職員のみならず、エリアを纏める法人運営部のマネージャーも子ども全員の顔を覚えているなど、家庭的な少人数の園の良さが随所に見られます。担当職員を中心に行う行事企画の打ち合わせに看護師や栄養士が参加し、専門性を活かした提案をするなど、様々な取り組みに職種を越えた連携が見られ、園目標の実現につながっています。

3. 園長とリーダー2人を中心に職員連携による「尊重できる保育士集団」を当園のスタンダードとして体制づくりが取り組まれています

当園は、法人の保育理念・保育目標を基本に、中期計画の3年目として、「主体的な子どもを育てていくために、まず、大人が主体的に行動して行く。軌道修正ができる保育士集団を目指す」、「お互いを尊重出来る保育士集団を目指す」、「P' S スマイルのスタンダードを作る」の構築に取り組んでいます。園長とリーダー2人の協力連携強化により、毎日の昼礼や週の学年会議、月の職員全体会議には、保育の振り返りに対し、職員の目配り・気配り・心配りを促して、「感謝の気持ちを持つ」、「自然界に対する不思議さに興味を持つ」ことが出来る職員育成体制を目指しています。年2回の園長の職員面談では、職員が目標立てしたスキルアップシートの目標やその進捗、業務上の疑問、受講したい研修などを話し合い、職員個別の育成成果の手応えを得られています。毎月のコンピテンシー研修および「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」を使った職員自らの目標への振り返りには、子どもへ笑顔での対応や保護者に伝わる説明、職員間の協力など、一人ひとりの職員が保育へ主体的に取り組む姿勢が得られています。今回の第三評価でインタビューした職員からも、自ら進んでの取り組みを聞く事ができました。法人の理念や経営計画等の職員周知や予算・実績管理やシステムサポートおよび本部マネージャーの協力などの本社のバックアップサポートも有効に活用して、保育に専念する当園のスタンダード「尊重できる保育士集団」として体制づくりが取り組まれています。

《改善することが期待される事項》

1. 子どもが落ち着いて過ごせる環境設定については更なる工夫が期待されます

駅の改札に直結したビルにある園は、働く保護者にとって利便性が高く頼もしい支援者となっています。ビルの中を改築しての園運営は、使用についての制限があり、部屋を仕切って壁を設ける等の改造は出来ない状況です。その中で、保育士は週案を確認し合っ、広い仕切りのない保育室を交互に使用したり時間差で散歩や屋上遊びに出かけたりと、職員全員でアイデアを出し合い、保育環境作りに努めています。広々とした部屋は天井も高く、ロフトやそこに続く階段、ボルタリングの壁も設えており、思いきり体を動かせるので子どもたちは大好きです。しかしながら、室内で活動する際の声の大きさや響きやすさは、時にざわついた落ち着かない環境となることがあります。家庭的な保育環境を要する時間、各年齢別発達を大切に時間など、場面応じた保育スペースの確保や音への配慮等については、なお一層の保育士の知恵を活かした工夫が期待されます。

2. 実習生受入れにむけて、目的を明らかにした指導プログラムの整備が望まれます

本年度は保育実習の学生2名の受け入れがあり、園長が窓口となり法人本部と連絡を取って対応しています。実習開始にあたっては、個人情報保護に関する誓約への署名および、園長から当園の理念や方針の説明を実施しています。実習終了時には、関わった職員が参加して実習生の反省会を行い、実習生の気づきや感想・疑問などを聞く機会としています。現状、実習生受け入れマニュアルやオリエンテーションシート、プログラムシートはボランティア受入れと同じファイルに保管されています。実習生の受け入れについては、将来の保育の担い手の育成を目指す目的を明らかにして、ボランティアプログラムとは異なる実習生プログラムの更なる整備が望まれます。



※横浜市の評価基準を使用しています

※「ひょう太」マークは各評価分類の水準を表しています



3つ…高い水準にある
2つ…一定の水準にある
1つ…改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者（子ども本人）の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</p>  <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。 (2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。 (3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p>	<p>① 法人設立時に理事長を中心に職員が考えた保育理念は「にんげん力。育てます。」です。「にんげん力」を育てるために必要な遊び、野外体験を提案実践し、子どもたちが自分で考え行動する力を育むことをめざしています。保育理念は、利用者本人を尊重したのになっていました。</p> <p>② 保育目標は①「センス・オブ・ワンダー」(自然の中に沢山足を運び、自然の中でも発見から、生死などの「環境認識」を。乳幼児期のうちから外遊びを「日常化」させることに重点を置き、子どもたちの「原体験」を大切にしています。)②「人対人コミュニケーション(園外では「すれ違った全ての人」挨拶を交わすことを園の約束としています。銭湯でお風呂の日、商店街ツアー、青空保育など地域交流行事を多く取り入れ、一人でも多くの「ひと」と挨拶を交わり、一つでも多くの「仕事」を目にすることで、『物おしせず誰とでも目を見て話ができる子ども』を育成します。)を、2大保育目標として掲げています。</p> <p>③ 保育理念、保育目標に沿って日々の保育を実践するために、詳細を明記した「スタッフハンドブック」を職員全員に配付しています。また、新入職の職員には、入社前教育として、保育理念、保育方針等を理解するための研修を実施しています。エリア別研修は、各園の園長がテーマを決めて実施していますが、今年度の研修では「法人理念である生きる力と人間力について語ろう」を行い、職員が意見交換しました。園長は、当園の保育について、保育士個人のスキルや努力に依存することなく、保育士、栄養士などさまざまな専門家が一つのチームとして取り組みたいと考えており、職員会議や打ち合わせなど折に触れて話し、職員に伝えています。</p> <p>④ 保育課程は、法人が大切にしている理念、2大保育目標に園の特徴を加えて作成しており、2枚にわたる詳細な計画は、子どもの心身の発達を最大限尊重したものとなっています。さらに、子どもの年齢ごとの発達を通じて一貫性があり、保護者の状況や、地域や周囲の環境も考慮しています。保護者には年度始めの懇談会で説明をしています。保育過程を基盤にしたうえで、各クラスの年間指導計画・月間指導計画への流れがあることを説明しています。</p> <p>⑤ 保育課程に基づき、年齢ごとに、年間目標に添った年間指導計画、月間週間指導計画を作成しています。子どもの遊び込んでいる様子や、活動、行事などに取り組み時の表情から子どもの思いを汲み取り、言葉で表現できる子どもからは、意見や要望を聞き取っています。年長児には必要なことを十分説明し、子どもが納得して自主的に取り組むことの大切さを伝えています。指導計画は子どもの意見や活動の様子から見直しを行い、日々の計画も柔軟に変更しています。また、子どもの意欲を引き出せるよう、一人一人に対応した指導計画を作成しています。</p>
<p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p>	<p>① 4月に入園する子どもと保護者を対象に園長および職員が個人面接を行っています。面接では、記入して持参してもらった書類を把握しながら、園のルールや保育内容について確認し、質問にも答えています。親子の関わり方や子どもの遊びの様子なども把握しています。面接時点で把握した生育歴や家庭の状況、面談で得た情報や留意点などを保育士が共有しています。食物アレルギーや健康面で配慮が必要な場合には、看護師や栄養士も面</p>



- (1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。
- (2) 新入園児の受け入れ時の配慮を十分しているか。
- (3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

接に参加しています。入念に聞き取った様々な情報は法人が定めた用紙に記録し、児童票と一緒に個人別にファイルしており、日々の保育をする上で必要に応じて職員が確認できるようにしています。

- ② 環境の変化による子どもと保護者の不安軽減のために、短縮保育「慣れ保育」を行っています。保護者の就業状況や考え方に応じてその長短を決めており、柔軟に対応しています。通常は1週間程度の期間を取って、徐々に時間を伸ばし、園に慣れてもらえるようにしています。タオルや人形などの持ち込みも可能です。また、入園に際して必要な品々を準備するにあたっては、保護者に写真や実物を見せて名前を付ける箇所等を確認しています。
- ③ 全園児について個別の連絡ノートがあります。乳児は24時間の目盛りに家庭と園が睡眠、食事、排せつなどを記入する物を使用し、幼児では法人独自の工夫を凝らした書式で、必要な事項が確認し合える形式の物を使用しています。丁寧な記入を心がけ、家庭との連携で子どもの生活の連続性に配慮しています。
- ④ 4月の順調なスタートを見据え担任の決定を早くし、進級時には複数の担任のうち一人が持ち上がるなどの工夫をしています。無理を避け、在園児の不安の軽減にも十分に配慮しています。保育内容が子どもの負担にならないように計画立案しています。新入園児を迎える園側も、職員配置や役割分担で対応しています。
- ⑤ 保育課程に基づき、園独自の年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。月案、週案は年齢別に作成しており、それぞれ幼児会議、乳児会議で振り返りを行い、評価、反省、変更にあたっては複数の職員の意見やアドバイスが得られるようにしています。2歳から5歳児は一緒に活動することも多い状況ですが、園長は「それぞれの子どもの成長に着目するように」と指導しています。保護者の意向は連絡ノートの記載事項、送迎時に会話、行事後のアンケート、意見箱など様々な機会を確認しており、計画の立案に反映させています。

I-3 快適な施設環境の確保




- (1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。
- (2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。
- (3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

① 保育園は駅に直結したビルの中にあります。眺めの良い保育室は、窓を大きく取った開放的な空間となっています。ビル全体は24時間換気で、一部の窓が開かない環境でもありますが、園内は清潔を保っています。冬場の乾燥対策では加湿器を用意し、温湿度にも気を配っています。訪問調査時も看護師が数値を確認しながら、加湿器を管理している様子を見ることができました。季節によっては保育室内に陽光が降り注ぎますが、夏の日差しは遮光カーテン等で過ごしやすく工夫しています。

- ② 1歳児室と2歳以上児が過ごすフロアの両側から使用できるように配置されたトイレと沐浴設備、温水シャワーを用意しており、常に使用できる状態を整えています。使用後の清掃はチェックを行い、清潔を保っています。
- ③ 1歳児～5歳児の園として広々としたオープンフロアを使用しています。その中で1歳児には常に仕切った環境を用意しています。2歳から5歳まではワンルームを使用していますが、「アナと雪の女王」の衣装コーナーやキッチンままごとコーナー、絵本コーナーなどに仕切り、興味ある子どもが使い分けるなど、子どもの集中できる環境づくりに努めています。同法人の中で同じような環境の園とは、オープンフロアの工夫した活用について、情報交換しています。保育士は週案を確認し合って、保育内容やフロアの使い方などを工夫していますが、声の大きさや響きやすさ、ざわついた環境の中で午睡に入ることがあるなど快適な環境づくりへのさらなる配慮が必要と思われます。
- ④ テーブルや収納棚の移動などで小集団の保育が行われるよう様々な工夫をして、年齢ごとのクラスで絵本の読み聞かせなど行なっています。ロフトとそこに登る階段が、部屋の真ん中に円柱の柱のように設計されており、子ども

	<p>たちの生活に変化を与えています。食べる、寝る、遊ぶは同じ部屋で行っていますが、その都度手早く清掃をし、食事、睡眠の場所を確保しています。2歳児～5歳児クラスはオープンフロアのため、クラスの壁を超えた活動も多く自然な形で交流しています。1歳児も大きいこどもの様子を身近で見えています。</p>
<p>I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力</p>  <p>(1) 子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。 (2) 子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p>	<p>①乳児全員について個別指導計画を作成しています。幼児に関しても必要な子どもについては個別の指導計画を作成しています。計画は子どもの発達状況に合わせ柔軟に変更・見直しを行っています。トイレトレーニングや、離乳食では、家庭と歩調を合わせて行うことを基本としており保護者と連絡を密にしています。特に配慮を必要とする子どもについては、関係機関とも相談しながら丁寧に保育を進めています。さらに、療育センターの助言を保育に取り入れています。</p> <p>②児童票や健康の記録などは、法人で定めた書式を使用しています。データで管理している書類も多く、職員が入力しています。子どもの個人別計画や経過記録は鍵のかかる書庫に収納しています。進級時の申し送りは個人記録を基に行っています。保育所児童保育要録は横浜市が定める様式で作成し、関係する小学校に園長が持参しています。</p> <p>③日々の申し送りは、昼礼とノートへの記入で行っており、時間をかけすぎないようにしてします。職員会議で検討を要する内容は、議題として前もって知らせ、意見が出やすいように配慮しています。乳児会議、幼児会議、週案会議も実施し情報の共有を図っています。会議録を残し、会議に出席できなかった職員や、パート職員にも確認できるようにしています。</p> <p>④保育士は子ども一人ひとりの状況を共有して、担当職員を中心に子どもの発達に応じて対応しています。片付けや準備、取組みに時間を要する場合は見守り、言葉かけや配慮した支援など、子どもの達成感につなげる保育を心がけています。合同の活動では、表現活動により自信の機会がもたれています。また、子どもが一人になれるブースや保育士と一対一の時間がもてるコーナーの活用により、落ち着いた時間がもたれています。延長保育で少人数の時間帯には家庭的な場面づくりなど、工夫をしています。</p>
<p>I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p>  <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。 (2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。 (3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。 (4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。 (5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに</p>	<p>①特に配慮を要する子どもを受け入れるにあたって、落ち着いて保育ができる環境を整えています。その子どもに合った対応を考えています。個々の子どものケースについては、乳児、幼児、月案会議や、クラス内で複数担任の打ち合わせで情報を共有し、同じ方向性で支援できるようにしています。障害保育に関する最新情報について職員は園外研修に参加しています。</p> <p>②園舎には段差のないバリアフリーとなっており、エレベーターの設置や、障害者・障害児用にスロープ、手すり等を完備しています。障害者保育については地域療育センターとも連携をとりながら、適切な対応が取れる体制ができています。また、支援が必要だと想定される子どもについても保護者と相談の上、専門機関につなげ、個別に指導計画をたてています。</p> <p>③虐待については「対応マニュアル」を用意し、早期発見や対応のポイントについて園内研修を実施しています。虐待が疑わしいケースは地区担当の保健師と連絡を取り合って対応する体制ができています。入園児に限らず園庭開放の際、遊びに来る親子の様子にも気を配り、必要があれば保健師等と連絡をとる事としています。</p> <p>④アレルギー疾患のある子どもの食事については、かかりつけ医の指示書を提出してもらい、担任、調理士、園長が除去する食材について確認しています。年度初めに職員全員で確認し合うほか、変更点や経緯を確実に申し送っています。配膳時には特に注意を払い、最終確認として複数の職員が声</p>

<p>対して適切な配慮がされているか。</p>	<p>掛けしています。トレーの色を変え、名札は一人一人色別にし、クラス名、氏名、個人マーク、除去内容を記入して、誤配食の無い様に十分配慮しています。</p> <p>⑤外国籍の子どもや日本語が不得手な保護者や子どもが在園した場合は、保護者の考えや生活習慣を尊重して対応しています。漢字には平仮名をふって分かりやすくしています。園だよりや掲示物などの内容については、外国語の得意な保護者に協力を依頼し、個別にお知らせする等の配慮をしています。</p>
<p>I - 6 苦情解決体制</p>  <p>保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。</p>	<p>①第三者委員の名前と連絡先電話番号を「入園のしおり」に載せています。苦情を受けた場合には第三者委員を交えて対応する仕組みを整えており、掲示物等で保護者に周知しています。苦情や要望を受け付ける担当者は園長としており、苦情等があった場合は速やかに説明・回答に努め、内容によっては職員会議で情報を共有して、対応策を検討して、改善に努めています。苦情については改善策も併せて、法人へ報告して、系列園でも共有しています。</p> <p>②園として意見箱の設置や行事後のアンケートの実施等で意見要望を聞く機会を設けています。意見箱に意見要望が入ることは稀です。直接意見を表明することが難しい場合も想定して、保護者には送迎時に気になった事が話しやすい雰囲気配慮した会話を心がけています。</p> <p>③園のホームページには「保護者の皆さまへ」のページが設けられるとともに、「どろんご意見・ご提案デスク」として苦情受付ホットラインを案内しています。法人直通の電話番号とメールアドレスを掲載して、保護者が携帯電話などから気軽に発信できる機会としています。保護者は、保護者会への出欠や行事への参加、延長保育やスナップ写真の申込みなど、ホームページを活用する機会が多く、意見や要望、苦情についても、ホットラインの利用が増えています。</p>

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅱ-1 保育内容 【遊び】</p>  <p>(1)子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。 (2)遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。 (3)動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。 (4)子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。 (5)遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。 (6)積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p>	<p>①子どもたちが自主的に遊べるように年齢に合った玩具を用意しています。収納棚に並んでいる玩具箱には写真を貼り、遊んだあとは片付けることができるようにしています。色鉛筆、クレヨン、色画用紙、糊やテープなどの教材も豊富に用意しています。保育士のアイデアで絵本コーナーを設け、表紙が見えるように置かれた絵本を子どもたちが手に取って読んでいます。知育の教材も揃え、知的な好奇心を満足できる環境を整えており、製作途中の作品を保存しておくボックスを用意し、遊びの連続性を担保しています。</p> <p>②ビルの6階のワンフロアを使用しており制限のあるなかで保育室の環境設定に工夫しています。1歳児の保育スペースは低い棚や柵で仕切った専用スペースがあり、きれいな色のボールや音の出る玩具を用意して五感を刺激しています。また、机の配置等に工夫を重ね、絵本の読み聞かせやなど集中できる環境をつくっています。1歳児は特にスキンシップを大切にし、保育士の膝で絵本を読んでもらうなど、保育士がたっぷりの愛情を注いでいます。</p> <p>③3、4、5歳児は合同クラスで過ごしています。2歳児は秋の頃から徐々に一緒に活動を増やしています。保育士と子どもの動線に合わせて玩具棚や収納棚を配置し、一つのフロアを共用しながらも、それぞれの指導計画に沿って日々の活動をしています。年齢の違う子どもたちが一緒に遊ぶ楽しさを味わえるようにしており、朝の会や食事や午睡、製作や歌も一緒におこなっています。4歳児は1月から2歳児のお世話係をおこなっています。</p> <p>④子どもを主体とした保育に力を入れており、自由な発想を保育に取り入れています。保育士は、発表会でする劇の内容や、散歩のコース選び、屋上遊びや当番活動、様々な場面で子どもの意見を取り入れています。月案、週案の作成では、静と動の活動、自由遊びと一斉活動、音楽や運動、制作や歌など、バランスを考えています。合同の保育をする上で、年齢や成長発達段階への配慮が大切と考えています。ゲームなども計画に入れ幼児がルールを守って遊んでいます。</p> <p>⑤子どもたちは、区内の同じ系列園に出かけています。訪問調査時も2歳児と4歳児がバスで出かけて行きました。自然な地形を利用した斜面のある広い園庭のある系列園に出かけるのは子どもたちにとって楽しい体験となっている様子で、昼食時は調査員に「今日はバスでお出かけしてきたの。園庭のヤギがもうすぐママになるの」と話してくれる子どもがいました。園庭の木に登り、鶏小屋の観察や堆肥作りも経験しています。</p> <p>⑥園のあるビルの屋上には専用のスペースがあり、景色が楽しめます。縄跳びや鉄棒をセットして遊んでいます。土を入れた畑が用意され、保育士が栽培に関する勉強を重ね、作物の収穫に積極的です。畑では夏野菜、ホウレンソウや小松菜などの葉物野菜、大根、玉ネギ、イチゴなどを収穫し調理保育等に使用しています。</p> <p>⑦朝の会と座禅、お掃除は毎朝必ず行う日課として位置づけ、子どもたちは背筋を伸ばして座り、静かに目を閉じています。訪問調査時の朝の会は、希望者が前に出て振りをつけて歌をうたっていました。お掃除では、年齢の低い子どもが多保育士に雑巾絞りをお願いしている場面もありました。ロフトに上がり手際よく雑巾がけをする年長児もいました。</p> <p>⑧少人数の家庭的な園の良さを最大限に活かしています。異年齢の子どもが</p>

一緒に過ごす時間が多いため、いろいろな子と遊べるように保育士が配慮しています。大きい子どもは小さい子への優しさや思いやり、小さい子どもには人を慕う心が芽生えるなど、お互いに成長する姿が見られています。子ども同士のトラブルについては、保育士がお互いの意見を聞き代弁するなどしており、子どもの成長に応じた仲直りの援助をおこなっています。

- ⑨ 晴れている日は午前も午後も戸外活動を行っています。園があるビルの2階にはJRの駅の改札があり、沢山の利用客が行き来する中を散歩に出かけており、子どもたちは散歩の約束を守っています。交通安全のルールや横断歩道の渡り方なども学んでいます。ビルの地下の食品売り場に見学に出かけ、魚屋さん、八百屋さんなどの店の方々との日常的な交流もあります。商店街を歩く街並み見学も楽しみの一つとなっています。室内でのリトミック、屋上でのプール遊びなどでも健康増進に積極的に取り組んでおり、裸足保育の効果もあって、子どもたちは速やかに動く身のこなしを身につけています。

Ⅱ-1 保育内容 【生活】



- (7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。
- (8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。
- (9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。
- (10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。
- (11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。
- (12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

- ① 法人本部の管理栄養士が作成した統一献立に沿って、各園の栄養士と調理担当が美味しい給食を提供しています。食材の大きさや切り方、味付け、調理法などについては、園の栄養士と調理担当が対応しています。噛む力に着目し歯ごたえのある副菜も提供しています。子どものその日の体調に合わせた食事提供も実施しています。季節感のある野菜や豆、魚介類など旬の食材をたくさん使っており、お米は産地からの直送品を使用しています。栄養士や調理担当は子どもたちの喫食状況や咀嚼の状況を確認しています。
- ② 子どものペースで食事がとれるように配慮しており、ほとんどの子どもたちは給食を完食しています。食べる前に保育士が量を調節し、途中で様子を見ておかわりを勧めるなど、残さず食べる達成感を感じることができるようにしています。陶器の食器や箸、スプーン、フォークも、子どもが使いやすい安全な物を用意し、子どもの体格に合ったテーブルと椅子も用意しています。年長児は給食当番を務めておりその日の料理名を読み上げ挨拶をして食べ始めています。
- ③ 法人本部作成の食育計画(年間計画)に基づき、栄養士と保育士が連携して園独自の多彩な食育活動に取り組んでいます。日本の伝統行事に因んだ給食の提供では、保育士が絵本や展示物を使って説明しています。食事を楽しんでもらいたいとの気持ちを込めて作ったクリスマスの献立ではフライドチキンとピラフ、ミモザサラダにスープを添えた豪華なものでした。子どもたちは包丁などの調理器具を正しく使って行う調理保育を楽しんでおり、柏餅、バナナゼリー、スイートポテト、ハロウインのロールパン作り、梅ジュース、梅干し作りや流しそうめんも行っています。三食ボードを使い食への関心を高めています。
- ④ 保護者への情報提供として、給食室のコーナーを設け、季節行事の紹介や食材、レシピなどを掲示しています。食材に関しては横浜市の放射能検査を受けています。この度の利用者家族アンケートでは「給食の献立内

容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」の質問に関して、回答した保護者の全員が「満足」または「どちらかといえば満足」と回答しており、高い満足度を示しています。

- ⑤ 子どもの年齢や体調、生活リズムに配慮しながら十分な休息が取れるように配慮しています。静かな環境のもとで、自然に眠りにつけるようにしており、午睡の際は程よい採光の下、空調管理と室温にも注意を払っています。午睡確認表を用いて呼吸チェックを行い1歳児では10分毎に記録を取っています。子どもの顔色や、布団が顔に覆い被さっていないかなども確認しています。午睡時に保育士が保育室を離れることはありません。就学が近づいた5歳児は1月から午睡をなくし、集中して本を読むなど静かな遊びを設定しています。
- ⑥ トイレトレーニングは、子どもの発達状況に合わせて柔軟に取り組んでいます。個人差の大きい時期となるため、園での取り組みが理解しやすいように保護者に説明をしています。それぞれの家庭の価値観を尊重した対応を取っています。職員間での情報の共有にも努めており、それぞれの子どもの基本的な生活習慣の獲得については、担任以外の保育士も把握しています

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- (1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。
- (2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。
- (3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

- ① 保健衛生と健康管理に関するマニュアルがあり、職員全員に周知しています。アレルギー疾患対応や保育園での与薬等も基本の対応が明確になっています。子どもの既往症は入園面接の時に確認し職員会議で共有しています。年度途中にかかった感染症や、受けた予防接種を申し出により記録しています。子どもの発達状況や予防接種の記録、健康診断結果、毎月の身体測定の記録は児童票に記録して管理し、測定結果は記入した身長体重カードを保護者に渡しています。
- ② 内科は年2回、歯科健診は年1回行い、その結果は保護者に乳幼児健康診断表に記入して保護者に知らせています。検診時に欠席した子どもは看護師が園医のところに付き添っています。4歳児は横浜市の眼科検診を受けています。食後の歯磨きは年齢に合わせた方法で行っています。6月には看護師が中心となって、絵本や紙芝居を使って健康指導を実施しました。3歳児からは座って歯ブラシを持って自分で磨き、保育士が仕上げ磨きをしています。4、5歳児は、毎年歯科検診時に歯磨き指導(赤染め体験など)を実施しています。
- ③ 看護師は主に1歳児クラスを担当しながら、朝いちばんの子どもたちの様子を観察し、保護者との会話や連絡帳から、確認が必要な事項があった場合は即対応しています。季節の感染症など子どもたちの健康管理について、早い判断が必要な場合も、的確に行動しています。体調の変化があった場合は、独自の「注意事項メモ」を作成して保護者に渡しています。法人本部のバックアップも強力で、保育園での看護師の業務を明確にしており、看護師は心強い存在です。
- ④ 感染症マニュアルは事務室に置き活用しています。子どもが感染症を発症した時には、掲示板にて保護者に情報提供しています。職員は全体会議や業務連絡のためのノートで情報を共有し、迅速に対応しています。感染症の疑いがある子どもや発熱の場合は、別室で過ごせるようにし、蔓延防止に努めています。保護者には、子どもが感染症にかかり、治った後に登園する時は、医師の治癒証明が必要な場合があることなどを知らせています。

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



(4) 衛生管理が適切に行われているか。

① 衛生管理マニュアルの中に児童保健衛生、病気発生時にフローチャート、施設衛生管理、消毒の方法の各項目があります。保健衛生関係の手順が明確になっており、消毒方法と共にトイレ内や洗面に掲示して職員に周知しています。保育室の床、トイレや沐浴室の清掃は職員が交代で行っています。また、玩具の消毒も実施しています。定期害虫駆除も実施しています。厨房の衛生管理は、マニュアルに沿って実施しています。特にノロウイルス等の発生しやすい時期では、感染症予防対策を入念に実施しています。

② 看護師が中心となって嘔吐下痢の対応研修を実施し、嘔吐物処理マニュアルを完備しています。各保育室の所定の場所に、嘔吐物処理セットを常備しています。流行期には「下痢、嘔吐の対策をおろそかにしないように」との申し合わせをしています。空気清浄機を置き、温湿度もこまめに確認しています。保育環境の整備では、看護師と保育士、職員全員が連携しています。お休みの子どもには電話で病気の状況を確認しています。

Ⅱ - 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

(6) 事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。

(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

① 安全管理マニュアルがあり、職員全員がその内容を理解しています。「危機管理マニュアル」には、災害、ケガ、不審者侵入、光化学スモッグの対応マニュアルと、発生時のフローチャートがあります。火災、地震、避難先一覧、園児引渡し・残留園児の保護、災害に対する環境整備等について、職員が打ち合わせをしています。地震対策として、靴箱、ロッカー、家具等の転倒防止には特に注意を払っています。駅ビル運営部との連携もあります。散歩先の公園、園内のハザードマップを作成しています。

② 事故発生時、事故対応時の職員の動きは明確になっています。電話番号ファイル、連絡網、緊急連絡先一覧表を事務室に掲示しています。病院一覧表、緊急時連絡手順書もあります。正規職員全員が上級救命士の資格を持っています。災害時のお迎えについては「園のしおり」に明記しています。園舎が使用可能な時は24時間開園することとし、保護者に責任をもって渡すことを定めています。園舎が壊滅や浸水した時は指定避難場所で引き渡すこととしています。この避難場所は散歩等で出かけ、保育士、園児共に確認済みです。子どもの安否情報、園舎の状況、避難先、子どもの受け渡し先はホームページの「どろんこ災害緊急掲示板」を活用できます。

③ 法人が定めた書式で、ヒヤリハット、インシデント報告書、事故報告書を記入しています。ヒヤリハットは小さなことも書くように園長が指導しています。法人全体の事故報告書が配信され、職員が共有することで事故防止に努めています。事故防止チェックリストを活用し年4回点検を実施しています。また、各月で設備点検チェックリストを用いて点検を徹底しています。防災備蓄品については、全園児2日分の水、レトルトやフリーズドライ食品、おむつ、ブルーシート、カセットコンロ等を用意しています。担当の園長がリストで管理しています。

④ 年間計画に沿って、毎月狙いを定めて時間や想定を替え避難訓練を実施しています。いずれの訓練も、効果を上げるように工夫して実施しており、職員は、様々なパターンに対応できるようになっています。不審者対応訓練も実施しており、簡単にインターフォンを開けないなどを申し合わせしています。

Ⅱ－３ 人権の尊重



- (1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。
- (2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。
- (3) 個人情報取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。
- (4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

- ① 保育士が子どもたちに話しかける際には、穏やかで分かりやすい言葉を選ぶように心掛けています。4、5 歳児の保育コーナーには保育士の発案で、声の大きさが目で見て分かる表を作って貼っています。静かな活動の場合は、音量表を使って、他の乳児や幼児に配慮した適切な静かな声で会話ができるように工夫しています。また、綺麗な言葉を使うように勧めており、場面によって「です。ます。ましようか。」で話しかけるなど、保育士がお手本を示しています。
- ② 研修の実施やコンピテンシーを使用しての啓発活動は行き届いています。職員の人権に関する意識は高く、他施設の不適切事例や、人権の尊重に関連する新聞記事等の注意喚起のFAXが、法人本部より送られて来た場合は、昼礼や会議等で検討する機会を作っています。職員がお互いに注意する機会もあります。
- ③ 児童票等の個人情報が含まれる書類は鍵のかかる書庫に保管しています。書類を各クラスに置く場合も、取り扱いに注意し、持出しの禁止も職員間で徹底しています。園が撮影した写真等を公開する際には保護者の了解を得ています。パソコンはセキュリティーの鍵を付け、個人情報のファイルにはパスワードをかけています。
- ④ 子どもが他の視線を意識せずにひとりで過ごせる場所を設定しています。棚の中や、移動可能なパーティションや衝立、カーテンなども利用し、一人になれる場所を確保しています。保育士と1対1で話せる環境としては、事務室などを利用しています。
- ⑤ 子どもたちは性差について区別されることなく行事を行ない、役割を持っています。玩具なども性別関係なく使用できる環境です。グループ分けや順番を性差で分けることもありません。また、無意識に性差による固定観念で保育していないか、職員同士で声をかけ合っています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携





- (1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。
- (2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。
- (3) 保護者の相談に応じているか。
- (4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。
- (5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。
- (6) 保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

- ① 入園前の園長面談では、保育の方針を説明し、保護者との連携を大切にしている事を伝えています。保護者全員に配付している「入園のしおり」には、保育所概要、一日の過ごし方、年間スケジュールなどと共に、保育理念、保育目標、保育の特徴などを明記しています。保護者懇談会では、日ごろの保育内容が一目でわかるように資料を作って配付し、園が大切にしている「裸足保育」、「異年齢保育」、主体性を伸ばす為にダメと言わない事による「機会を排除しすぎない保育」について説明し、保護者との関係性を大切にしていることを伝えています。
- ② 懇談会は年2回実施しています。保護者の参加しやすい時間帯に開催しており、ほぼ全員の保護者が参加しています。保育目標、ねらいや子どもの様子を、担任がわかりやすい言葉を使って説明しています。保護者の質問にも丁寧に答えています。保護者同士が話し合える時間を設け情報交換や意見交換できるようにしています。
- ③ 夕涼みや運動会の後、保護者の感想をアンケート形式で聞いており、次の行事企画に活かしています。意見箱や、送迎時の会話などで保護者の意見を聞く機会を設けています。保護者組織はありませんが、行事の手伝いや、運動会などの保護者参加行事に多くの保護者が参加しています。個別の面談も希望すればいつでも可能です。
- ④ 保育参加は申し出によりいつでも可能です。一日3組ぐらいが限度と考えていますが、昼食迄の時間を子どもたちと一緒に過ごしています。保育参加の後にはアンケートの記載をお願いしています。
- ⑤ 今回の保護者アンケートの自由意見には、「怪我したその日の連絡不足」や「保育士の突然の退職」などの不満の記述がありました。園としては、園長

はじめ職員全員で受け止め、保護者への説明の徹底を課題として再確認し、法人の各園にも共有する予定にしています。

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。 (2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p>	<p>①園に併設する地域子育て支援センター「ちきんえっぐ」は、子育てに関する地域のニーズを把握する手段として、月曜日から土曜日の9:30～16:30には園開放を、13:00～16:30には子育て相談を行なっています。毎週の地域へむけたイベントとして、親子で参加できる自然食堂や芸術学校、役立つ講習会や研修会を実施する寺親屋、「ちきんえっぐ農園」の開催、青空保育では駅前公園に来ている地域の親子と園児と一緒に絵本や紙芝居、シャボン玉で遊ぶことで交流しています。いずれも月刊の「ちきんえっぐだより」の誌面で予定と活動報告を掲載して、参加を募っています。年度末には時期や内容について各イベントを振り返り、次年度の企画に活かしています。</p> <p>②園内スペースで行う自然食堂は、地域から参加した親子と一緒におやつを作り味わうイベントで、子ども同士が遊んで母親同士は子育てについて話し合い、地域の情報交換など交流の機会になっています。おやつのレシピや作り方指導を行う園の栄養士は、交流の輪に参加して、おやつの作り方だけでなく、子どもが喜んで食べる離乳食や好きな献立、栄養バランスなど食事相談にも応じています。予定は年間スケジュール表に記載して、毎回数組の母子が参加して親しくなっています。参加者には簡単なアンケートに記入をいただき、地域での子育ての悩みや疑問などを聞き取っています。把握したニーズは職員全体会議やミーティングで話し合い、子育て支援事業に活かしています。</p>
<p>Ⅲ－２ 保育所の専門性を活かした相談機能</p>  <p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。 (2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p>	<p>①区の一時的保育事業やマイ保育園事業、ケアプラザを会場の育児相談の地域支援事業「さくらんぼの会」(当地区保育園10園の持ち回り・ケアプラザでチラシ配布)に取り組んでいて、季節によっては駅前花壇の花の植え替えを行なっています。また、駅前ビルの書店とのコラボレーションにより保育士が絵本の読み聞かせやパネルシアターなどを毎月実施されています。当駅ビルの月イベントが掲載されたチラシは1階に置かれ、多くの参加が得られています。無人で無料のフリーマーケット「勝手かご」は園の取組みとして始めた子ども用品リサイクル活動ですが、園開放やイベントへの参加者にも活用されて、地域の子育て支援の取り組みにもなりつつあります。地域住民への園からの情報発信は、「ちきんえっぐだより」だけでなく「どろんこ通信」やホームページからも、地域向けの情報提供や育児相談を紹介しています。</p> <p>②地域の育児相談には園長が中心に対応しています。相談内容として多いのは①離乳食を食べない悩み、②トイレトレーニングの進め方、③夜泣き、その他で、相談内容に応じては、栄養士や看護師、および保健師、場合によっては法人の障害児受入れ園の専門職員へ取次ぐなど、連携体制が整備されています。</p>

評価領域Ⅳ 開かれた運営

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>Ⅳ-1 保育所の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p>  <p>(1) 保育所に対する理解促進のための取り組みを行っているか。 (2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p>	<p>① 毎年園の夏祭「どろんこ祭り」には自治会や町内会などを招待して、秋にはバザー、冬には屋上庭園での餅つきなど園の地域開放の行事を行なっています。近隣保育室とは、3ヶ月毎に交流会を開催して、ボルタリングや椅子取りゲームなどを行っています。当区では保育園長・小学校長・中学校長の懇親会や情報の共有化が図られています。小学校1年生と5歳児の交流は月1回を目標としていますが実現されてなく、今後の課題としています。また、ビニールプールは地域への貸出し備品としています。</p> <p>② 子どもの地域との交流の機会としては、毎週の商店街ツアーによる職業見学、毎月の園主催の駅前公園での青空保育、銭湯でお風呂の日(3歳から5歳児)、老人ホーム訪問などがあります。子どもたちは、魚屋さんでは色々な魚をおかしらつきで見たり、鮪の解体ショーを見学します。八百屋さんでは野菜を触るなど体験しています。図書館では静かに本を見る経験をしています。ケアプラザでは月1回福祉施設を訪問してお年寄りと交流しています。鉄道会社の記念日には、制服で写真撮影をしてもらいます。お正月には出初め式を見学しています。就学前の子どもたちは入学する小学校の校庭でドッジボールやリレーで遊ぶ機会を設けられています。</p>
<p>Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供</p>  <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。 (2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p>	<p>① 園の保育の特徴や子どもたちの活動の様子は「入園のしおり」や「どろんこ通信」などに写真を掲載して分かりやすく説明しています。ホームページでは法人の理事長メッセージや概念図により保育理念を解説しています。デイリープログラムや子どもたちの活動の様子、年間の農業体験などを写真掲載で紹介しています。入園申請書類や年間スケジュール、献立表や「どろんこだより」、「ちきんえつぐだより」などをダウンロードする事ができます。保護者のページからは保育時間延長の申込みおよび保護者会や行事、子どもの写真の申込みなど手続きが取れます。メールなどで相談や苦情、意見などを本部へ直接伝える事ができます。また、市のホームページでの保育情報欄へは、待機児童数なども年2回更新しています。商店街ニュースや市の情報紙など取材を受けて園のサービス特徴や活動情報などを提供しています。地域の子育てママ作成の「おでかけマップ」には、当園がおむつ替えやトイレ借用スポットとして掲載されています。</p> <p>② 利用希望者の問合せや見学者への説明内容は園長やリーダーに限らず全職員でOJTにより共有できており、問合せには「入園のしおり」や「どろんこ通信」「どろんこ便り」などを発送するとともに見学を勧めています。本部への問合せの場合も同様に、資料の発送と見学の案内を行なっています。月曜見学会が開催(参加15名程)されていて、その時の質問は①オムツの持ち帰り、②発熱時の対応、③保育外料金、④課外体験、⑤親子参加行事や保護者会についてなどです。見学会では園での取り組みについて詳細な説明に努めています。</p>
<p>Ⅳ-3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<p>① ボランティアの受け入れについては、園長が窓口となり法人と連絡を取り合って受け入れています。ボランティア受入れマニュアルは整備して、受入れの考え方や受入れ手順を職員に周知しています。ボランティア受入れ時にはオリエンテーションシートに沿って説明して、プログラムシートで活動を確認しています。また、個人情報保護に関する方針や取り扱いへの誓約の署名を受けた上で活動を開始してもらっています。イベントが多く、管弦楽でのアニメソング演奏や元プロのレビュー上演などは保護者からも喜ばれています。どろんこ祭や餅つき、夕涼み会の行事は、保護者で組織するボランティ</p>

<p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受け入れを適切に行っているか。</p>	<p>アグループ「どろんこサポーターズ」が協力して開催しています。終了後には感想や意見を交換しています。ボランティアの受入れ目的や実施後の感想や意見を収集する意義などを職員間で周知共有する事は今後の課題と言えます。</p> <p>② 保育実習は今年度、学生2名の受け入れがあり、園長が窓口となって法人本部と連絡を取り合って受け入れています。実習生受け入れマニュアルはボランティア受け入れマニュアルとともに記載され、オリエンテーションシートやプログラムシートは同じ書式を使用して、一緒のファイルに保管されています。個人情報保護に関する方針や取り扱いへの誓約の署名を受けた上で、園長から当園の理念や方針の説明を行い、実習を開始しています。実習生は、期間中はクラスのねらいや計画を念頭に、昼礼に参加して実習日誌を記録しています。実習終了時には、実習生と関わった職員が参加して反省会を行い、実習生の気づきや感想を聞く機会としています。実習生に関しては、将来の保育の担い手であり、ボランティアとは目的が大きく異なります。今後、法人の保育実習受け入れの取組みによる実習生の増加が予測されます。受入れマニュアルは独立書面とし、実習生プログラムシートはボランティアと異なる書式により、目的を明確にすることが望まれます。</p>
--	---

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>V-1 職員の人材育成</p>  <p>(1) 保育所の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。 (2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか (3) 非常勤職員等にも日常の指導を行っているか</p>	<p>①職員採用は本部が行っており、法人の理念や方針を提示し、期待する職員像として「現状に満足せず自己の成長を常に意識している人」、「実際にやってみせるその背中で教えていける人」、「より良い保育を目指して創意工夫ができる人」を掲げています。園では朝と夕方の短時間勤務について、大学生(保育専攻)の有資格者の採用検討を進めています。採用後は新入職員研修やOJT、系列園での実地研修などが用意されています。全職員向けの毎年の法人内外の各種研修の受講および海外インターシップなどもあります。また、職員の研修実施の取組みについては園のホームページでも紹介しています。</p> <p>②年間の法人内研修は全職員に上級救命救急や基礎研修、保育スキル研修、職層別には系列園でのOJT研修(新人10園)やリーダー研修、園長研修などが実施されています。毎月のコンピテンシー(理想的な行動基準)による自己評価や「児童・保護者の人権チェック」での業務の振り返りにより、自身が目標設定して業務に取り組む職員育成の仕組みがあります。職員が子どもを理解し記録をとる習慣づけとしてマイノートの活用に取り組み、職員が自身の課題を園長やリーダーへ相談する体制がとれて、理念に基づいた保育の実践に努めています。毎週行なわれている会議では、園が円滑に運営されるように、本部マネージャーによる助言が行なわれています。</p> <p>③新人とベテランや非常勤職員と常勤職員などシフト勤務の組み合わせは配慮されるとともに、非常勤職員にも職員ハンドブックは配布されています。昼礼や学年会議、職員会議に出席して自身のスキルへの目標および振り返りを実施しています。スキルアップシートによる園長の面談・指導がなされて、常勤職員への登用の機会も就業規則に定められています。なお、新年度には新人事制度が導入されて、職員のキャリアアップへの道筋が明確化される予定です。</p>
<p>V-2 職員の技術の向上</p>  <p>(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。 (2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。 (3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。</p>	<p>①職員全体会議での月間指導の振り返りに基づいて年度末には年度の振り返りを行ない次年度の目標をたて保育課程を策定する策定会議を2回開催しています。全職員からの工夫や実践事例を踏まえた提案を集めて次年度の組織としてのサービス水準の向上を目指します。策定会議には、園運営を援助する役割で本部のマネージャーが出席しています。</p> <p>②保育士は週間指導計画において、ねらいに照らして保育の実践を毎週のクラス会議で振り返り、次週の計画につなげます。3歳児未満の子どもの個別計画の振り返りは、ねらいに対して結果だけを見ることなく、子どもの状況および取組み意欲や過程に着目して省察して次月の指導計画に反映しています。園長は、保育士の計画・活動に対して、適切な保育が遂行できるよう、評価や助言により技術の向上を図っています。</p> <p>③毎月のコンピテンシー研修とは別に職員マインドの基準として「児童・保護者の人権のためのガイドライン」を設けています。毎月の会議で職員は「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」をチェックすることで、自らの業務技術の質を検証し、改善へつなげています。半期ごとの職員個別のスキルアップシートでは、目標に対する業務遂行、評価の流れで自己評価を項目ごとに行い、保育園・保育業界・子育てを良くする為に行動した実績や振り返りを、保育士本人が記述して次期の目標立てを行ない、園長は半期間の努力に対して丁寧な評価や助言を行なっています。</p>




V-3 職員のモチベーションの維持



(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

- ① 職員ハンドブックには法人の理念、特色から、保育士としての基本スキルが明記されて当法人職員としての期待水準が明文化されています。「保育士行動着眼点集」では職層別のコンピテンシーのチェックにより、自身の目標設定を行なっています。職員会議での発言および日常的にはメールや口頭で園長や本部あてに提案や意見を述べる事を奨励しています。年度末の策定会議は特に、今年度の省察や次年度への改善提案を行ない事業計画や保育課程を策定しています。園長は半期ごとにスキルアップシートで職員自己業績を評価した職員と面談を行なって、職員の業務への満足度や職場への要望の把握に努めています。
- ② 法人は毎年、職員の外部研修受講アンケートを実施して希望の研修への参加を精査しています。他園への実地研修や交流保育を実施しています。法人では毎年、保育士グループ年間ハイパフォーマンスコンテストを開催・表彰し、保育士年間MVP受賞者には研修旅行が贈られています。海外インターシップ研修生の社内公募など、職員のモチベーションの維持・向上を図っています。このような表彰、研修制度が日常的な保育に生かされることが望まれます。
- ③ 非常勤職員は、正規職員と同様の研修をWEBで受講でき報告書を提出し、外部研修についても、参加目的と意欲が評価されれば「絵本読み聞かせ研修」、「畑仕事とプランター研修」、「さくらさくらんぼ研修」などに参加でき、職員会議で報告を行なっています。また、時間外懇親会の機会もあり、職員のモチベーションの維持や高まりが期待されます。

評価領域VI 経営管理

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>VI-1 経営における社会的責任</p>  <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。 (2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p>	<p>①職員が守るべき法規範・倫理、サービス規程などは、就業規則に明示され、入社時に職員研修を行い周知しています。全職員が所持している「スタッフハンドブック」にも守るべき規範、行動指針、児童・保護者の人権のためのガイドラインを記載して、全職員は毎月の職員会議で「児童・保護者人権チェックリスト」を用いて自己評価を行い、子どもたちや保護者への適切な対応に努めています。個人情報保護についてはプライバシーポリシーをホームページに公開し、児童・保護者などの個人情報を適正に利用し管理するとともに、正確性・機密性の保持に努めることを表明しています。</p> <p>②経営・運営状況については、毎年の法人の全社員研修で説明しており、法人としてWEBでも公表しています。園での不適切な事例については、園長会議を通して、法人の全職員で共有し、職員モラルの向上を図っています。</p> <p>③在園家庭の地域交流および地域子育て支援を目的とした、園前に置かれている子ども用品の無人無料フリーマーケットの「勝手かご」には、不要な子ども用品を年齢別のかごに入れて、必要な洋品を勝手にかごから貰う仕組みで、リサイクル推進として活動しています。ゴミの減量化の取組みとしては、園長会議で給食予算と残食による食材単価の点検をルール化して、各園で大切に食べきる事が図られています。省エネルギーの取組みとしては、LED電球の利用、環境整備では、横浜市の園庭緑化補助金を活用してブロックコンテナで野菜を栽培・収穫などに取り組んでいます。</p>
<p>VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p>  <p>(1) 保育所の理念や基本方針等について職員に周知されているか。 (2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。 (3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p>	<p>①法人の理念や方針に基づいて、園の目標を「感謝の気持ちを持つ」「自然界に対する不思議さに興味を持つ」とし、3ヵ年計画の具体化としては、主体的な子どもを育てていくために、まず、大人が主体的に行動して行くこととしています。事業計画は職員に配布して、職員全体会議で確認・周知しています。職員が事業計画をより深く理解していくために、年2回の園長の職員面談では「ていねいな保育について目配り・気配り・心配り」の実践のためのあるべき姿について一人ひとりの職員と話し合っています。</p> <p>②保護者以外のお迎えの場合の事前登録など全保護者の承認が必要な事項については保護者懇談会で説明して、意見交換の時間を設けて承認を得て書面で周知徹底が図られています。保護者代表と法人から1名、外部委員が出席する運営委員会も開催されています。園は保護者と共通認識がもてるよう行事や個人面談、お迎え時にも会話の時間や相談など頻繁なコミュニケーションに努めて信頼関係づくりを図っています。</p> <p>③スーパーバイザー体制のとれる乳児担当リーダーと幼児担当リーダーが配置され、計画的なリーダー育成プログラムが実施されています。2人のリーダーは、乳児と幼児クラスの昼礼や学年会議、職員全体会議での指導計画作成および帳票類の管理など、園長とともに職員の業務管理および職員の周囲への気配りの指導にも取り組んでいます。また、職員の研修参加や体調に配慮してシフト組みや調整を行なっています。</p>
<p>VI-3 効率的な運営</p> 	<p>①社会環境や法制度および保護者の要望が変化する中で、園の運営に関連する情報は、行政や本部、関係機関や園の専門職などから入手して、運営に活かしています。園の職員が保育に専念できるように本部のバックアップ体制がとられています。職員の研修や育成プログラムの作成や見直しおよび表彰制度など、第三者評価の3年に1度の受審、予算・実績管理および各種業務のシステムサポートがされています。また、本部職員による園運営</p>

<p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育所運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p>	<p>への助言や子どもたちの活動や体験および園バスの運行などへの協力もされています。</p> <p>②法人は1月の経営会議で次年度の中長期計画を立てて、新年度にはISO 9001を各園および運営部で導入予定をしています。本部が主導で各園への説明など準備が進められています。当園の事業計画は中期計画の3年目をむかえ、お互いを尊重できる保育士集団づくりをP'Sスマイルのスタンダードとしています。園長と2名のリーダーが中心に誰にでも出来る当たり前のことを誰にも出来ないくらい続けることで、背中で教えられる職員チームに成長し続けています。</p>
--	--

利用者家族アンケート 結果概要

実施期間 2015年11月26日 ～ 2015年12月15日

実施方法 アンケート方式
保育園から全園児の保護者に直接配布(手渡し)

※表中の「満足度」は、「満足」「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です
※同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについての回答です

◆結果について◆

- 保育園の総合満足度は、「満足」「どちらかといえば満足」を合わせて100%と高い評価になっています。
- 問1「保育目標・方針を知っているか」に対して、「よく知っている」と「まあ知っている」を合わせて96%であり、利用者には周知されています。また、その内容に回答者全員の方が賛同しています。
- 問2では、問1の裏づけとなるような95%の満足となっているものが、「園の目標や方針についての説明」「入園時の面接で、お子さんの様子や生育を聞く対応」です。問2の中でどちらかといえば不満、不満が17%となっているのが「費用やきまりに関する説明」についてです。
- 問3の「年間の保育や行事についての説明」について、91%が満足と回答していて、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」も83%と高い評価になっています。
- 問4の「遊び」では、「子どもが戸外遊びを十分にしているか」「自然に触れたり地域に関わるなどの園外活動」「遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もっているか」について、100%の満足度を示しています。他の3項目でも95%と高い満足度となっています。
- 問4の「生活」では、「給食の献立内容」「お子さんが給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」について、100%の満足度を示しています。
- 問5では、「施設環境」「お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか」「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供」に満足、どちらかといえば満足が95%の高い満足度となっています。
- 問6では「園だよりや掲示などによる園の様子や行事に関する情報提供」「保護者からの相談事への対応」については、満足、どちらかといえば満足で95%の満足度となっています。
- 問7では、「お子さんが大切にされているか」「お子さんが保育園生活を楽んでいるか」について、満足、どちらかといえば満足で100%の満足度となっています。他の3項目でも91%と高い満足度となっています。

■施設のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
見学の受け入れについては	10	8	0	0	5	1	24
	その他:見学していない(3名)。系列のどろんこを見学して満足。開所前だったので見学していない。新規開園だったので見学なし。その様な機会はなかった。						
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	9	12	1	0	2	0	24
	その他:見学していない。間接的に調べた。						
園の目標や方針についての説明には	12	11	0	0	1	0	24
	その他:もう少し全面に出して説明があった方が良い。						
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応については	13	10	1	0	0	0	24
	その他:						
保育園での1日の過ごし方についての説明には	14	8	1	0	1	0	24
	その他:あるときもあればほとんど無い時もある。						
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかを含めて)	11	7	3	1	2	0	24
	その他:不満ではないですが後片付けの費用請求(習い事の送迎費や毎月の支払いが現金→引き落としになった際の手数料、タイムカード形式からPCでのバーコード入力形式になった際の打ち損じのために時間延長料金)等が多いのでちょっとどうかな?という気がします。どちらでもない。						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	69	56	6	1	11	1	144

問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
年間の保育や行事についての説明には	10	12	2	0	0	0	24
	その他:						
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	8	12	2	0	2	0	24
	その他:どちらとも言えない。入園して初めての年のためわからない。						
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	18	24	4	0	2	0	48

**問4 日常の保育内容についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
(○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)**

「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	16	7	1	0	0	0	24
その他:							
子どもが戸外遊びを十分にしているかについては	18	6	0	0	0	0	24
その他:							
園のおもちゃ教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	15	8	1	0	0	0	24
その他:							
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	20	4	0	0	0	0	24
その他:							
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	18	5	1	0	0	0	24
その他:							
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	19	5	0	0	0	0	24
その他:							
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	106	35	3	0	0	0	144

「生活」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
給食の献立内容については	18	6	0	0	0	0	24
その他:							
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	18	6	0	0	0	0	24
その他:							
基本的な生活習慣(衣服の脱着、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	17	6	0	0	1	0	24
その他:外遊びがない日に着替えがないのはなぜですか?							
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	13	9	0	2	0	0	24
その他:							
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	14	5	0	0	5	0	24
その他:入園時からおむつはずれていました(3名)。まだ始まっていないためわからない。無理強いをする先生もいた、嫌味っぽい。							
お子さんの体調への気配りについては	16	6	2	0	0	0	24
その他:							
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	13	9	0	1	1	0	24
その他:ないことも多い、子供から聞いたり気づいて聞く事もある。説明がないときが多々ある							
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	109	47	2	3	7	0	168

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
施設整備については	12	11	1	0	0	0	24
	その他:						
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	11	12	0	1	0	0	24
	その他:						
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	12	9	2	0	0	1	24
	その他:保護者の友人が1人で来た時も鍵をあけていた「私、お帰りにさいって言われちゃった～」と笑って話していたがそれで良いのか?						
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	15	8	1	0	0	0	24
	その他:						
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	50	40	4	1	0	1	96

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。（○はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	12	8	1	0	3	0	24
	その他:時間がとれないので面談をしていない。開始時間が早い為出席できていない。あまり参加出来ていない。(2名)						
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	17	6	1	0	0	0	24
	その他:						
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	16	6	1	0	0	1	24
	その他:開催日や集合時間がよく変わるなと思う。						
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については	10	12	1	1	0	0	24
	その他:						
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	12	7	2	1	2	0	24
	その他:質問が抽象的なため、わからない。ないこともある。						
保護者からの相談事への対応には	10	13	1	0	0	0	24
	その他:						
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	16	5	1	0	2	0	24
	その他:あまりそのような機会はない。遅れたことがない。						
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	93	57	8	2	7	1	168

問7 職員の対応についてうかがいます。それぞれの項目について満足度をお答えください。
 (〇はそれぞれ1つずつ。その他を選択した場合は、その理由をご記入ください。)

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	合計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	17	7	0	0	0	0	24
	その他:						
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	19	5	0	0	0	0	24
	その他:						
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	14	8	0	0	2	0	24
	その他:不明。自分の子が該当しないので分からない。						
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	17	5	1	1	0	0	24
	その他:						
意見や要望への対応については	14	8	2	0	0	0	24
	その他:						
合計	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答	合計
	81	33	3	1	2	0	120

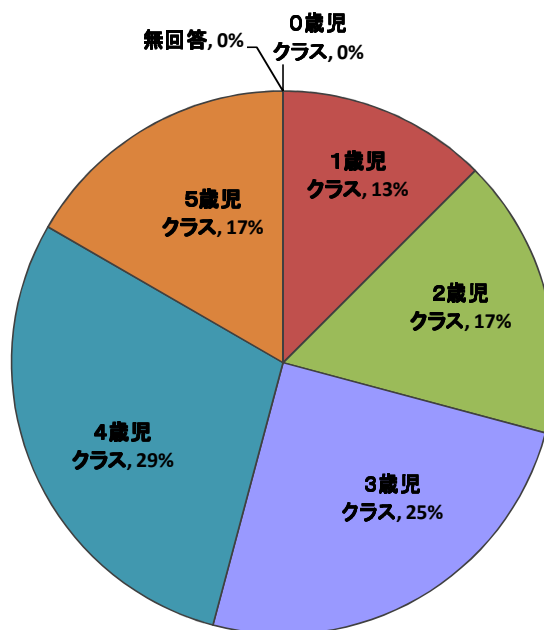
問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	無回答	合計
総合満足度は	16	8	0	0	0	24

「P'Sスマイル保育園」利用者家族アンケート

- 実施期間 2015年11月26日～12月15日
- 回収率 44.4% (回収24枚/配布54枚)

お子さんは何歳児クラスですか。 (〇は1つだけ)	0歳児 クラス	1歳児 クラス	2歳児 クラス	3歳児 クラス	4歳児 クラス	5歳児 クラス	無回答	合計
		0%	13%	17%	25%	29%	17%	0%



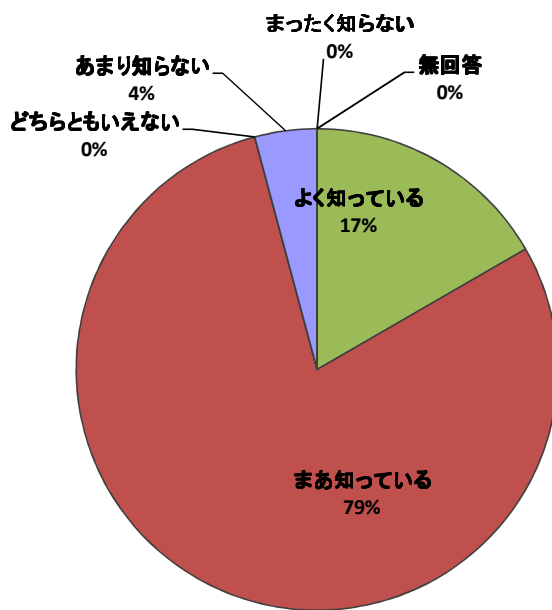
集計結果

■施設の基本理念や基本方針について

問1

あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	合計
	17%	79%	0%	4%	0%	0%	100.0%

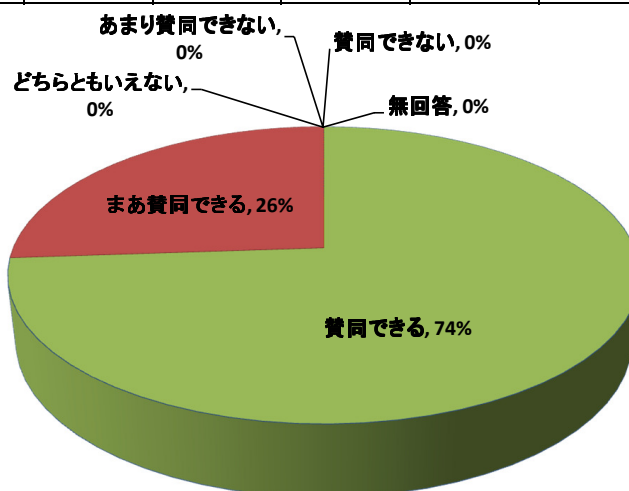
保育園の保育目標・保育方針について



↓ 問1で【「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」とお答えの方へ】

付問1

あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか。(○は1つだけ)	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	合計
	74%	26%	0%	0%	0%	0%	100.0%

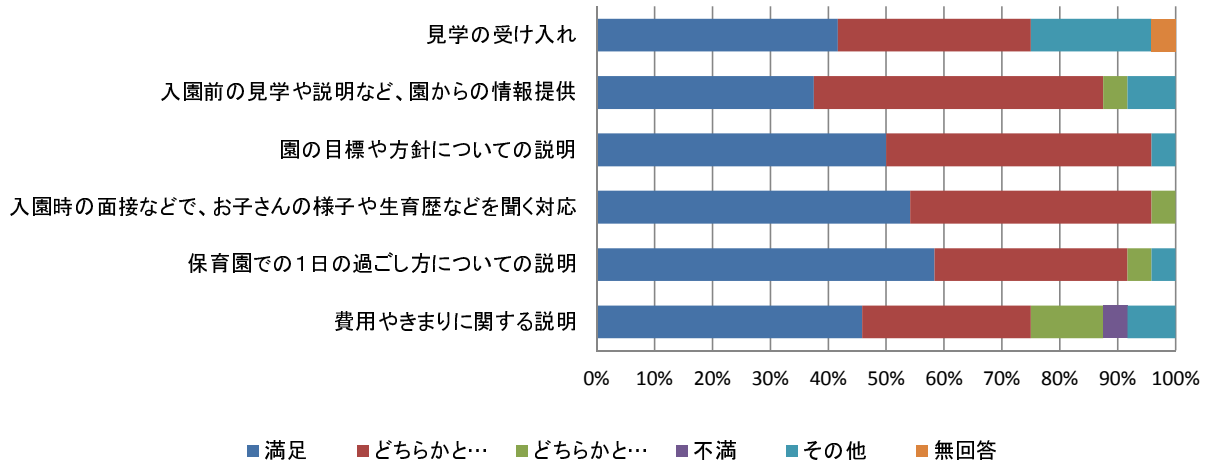


■施設のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
見学の受け入れ	41.7%	33.3%	0.0%	0.0%	20.8%	4.2%	100.0%
入園前の見学や説明など、園からの情報提供	37.5%	50.0%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
園の目標や方針についての説明	50.0%	45.8%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応	54.2%	41.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育園での1日の過ごし方についての説明	58.3%	33.3%	4.2%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%
費用やきまりに関する説明	45.8%	29.2%	12.5%	4.2%	8.3%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	47.9%	38.9%	4.2%	0.7%	7.6%	0.7%	100.0%

入園時の状況



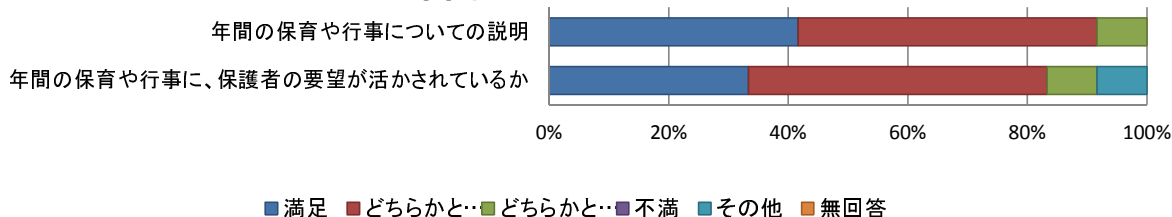
【その他】

見学の受け入れ	その他: 見学していない(3名)。系列のどろんこを見学して満足。開所前だったので見学していない。新規開園だったので見学なし。その様な機会はなかった。
入園前の見学や説明など、園からの情報提供	その他: 見学していない。間接的に調べた。
園の目標や方針についての説明は	その他: もう少し全面に出して説明があった方が良い。
保育園での一日の過ごし方についての説明には	その他: あるときもあればほとんど無い時もある。
費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)	その他: 不満ではないですが後片付けの費用請求(習い事の送迎費や毎月の支払いが現金→引き落としになった際の手数料、タイムカード形式からPCでのバーコード入力形式になった際の打ち損じのために時間延長料金)等が多いのでちょっとどうかな? という気がします。どちらでもない。

問3 保育園に関する年間の計画についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
年間の保育や行事についての説明	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	33.3%	50.0%	8.3%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	37.5%	50.0%	8.3%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%

年間の計画について



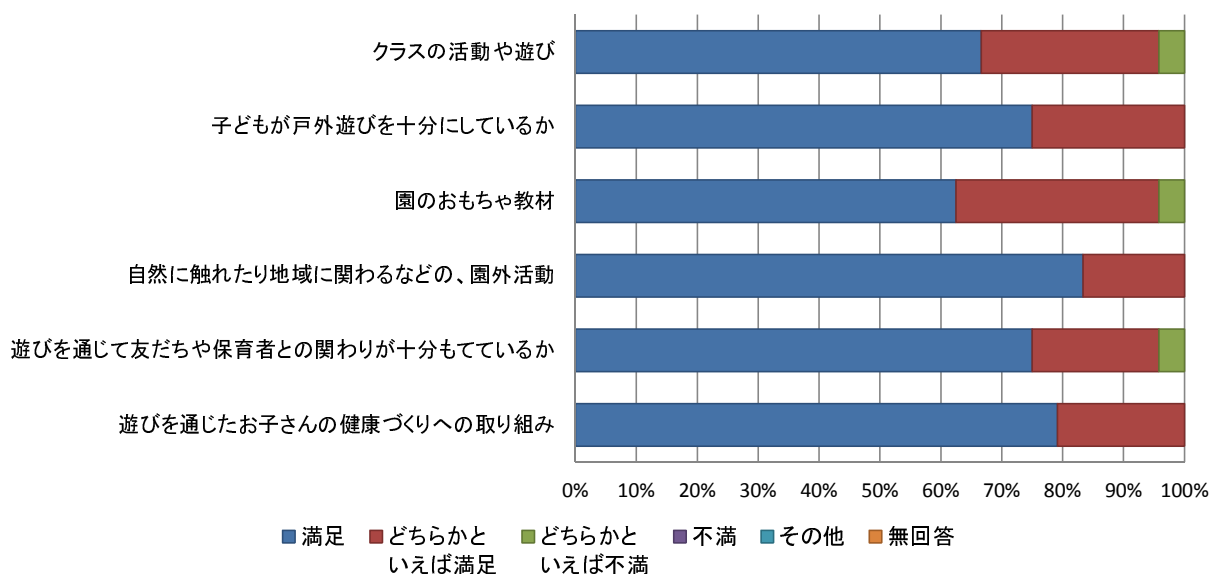
【その他】

年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか	その他: どちらとも言えない。入園して初めての年のためわからない。
---------------------------	-----------------------------------

問4 日常の保育内容についてうかがいます。

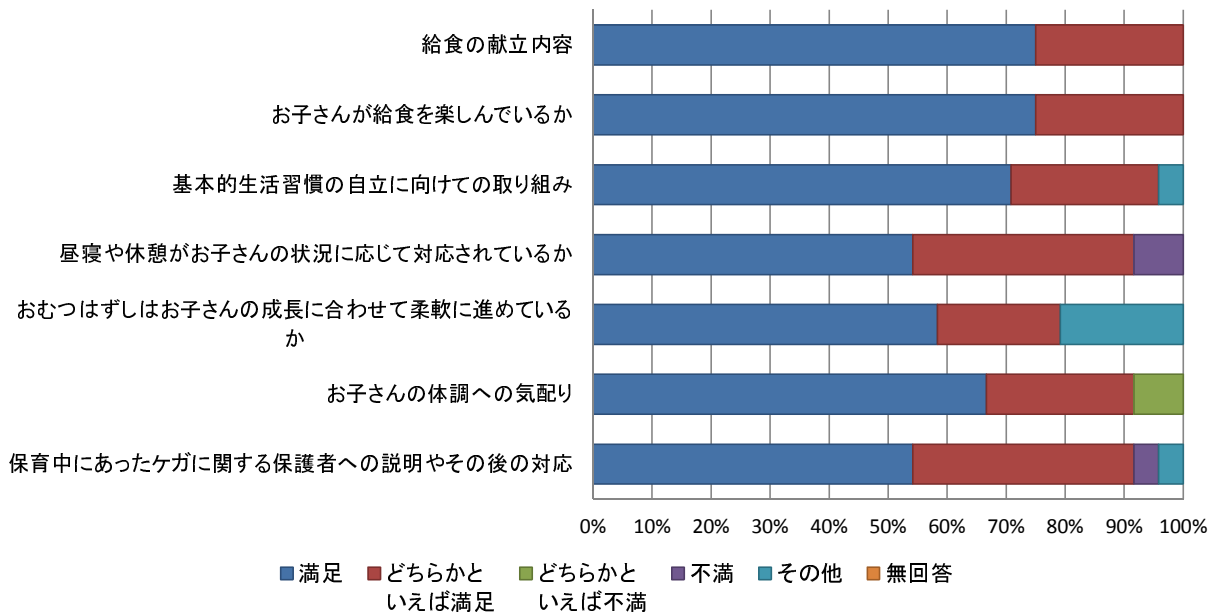
「遊び」について	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
クラスの活動や遊び	66.7%	29.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
子どもが戸外遊びを十分にしているか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園のおもちゃ教材	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているか	75.0%	20.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組み	79.2%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他	無回答	合計
	73.6%	24.3%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「遊び」について



「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
給食の献立内容	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが給食を楽しんでいるか	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
基本的生活習慣の自立に向けての取り組み	70.8%	25.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	100.0%
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているか	54.2%	37.5%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	100.0%
おむつはずしはお子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	58.3%	20.8%	0.0%	0.0%	20.8%	0.0%	100.0%
お子さんの体調への気配り	66.7%	25.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応	54.2%	37.5%	0.0%	4.2%	4.2%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	64.9%	28.0%	1.2%	1.8%	4.2%	0.0%	100.0%

日常の保育内容「生活」について



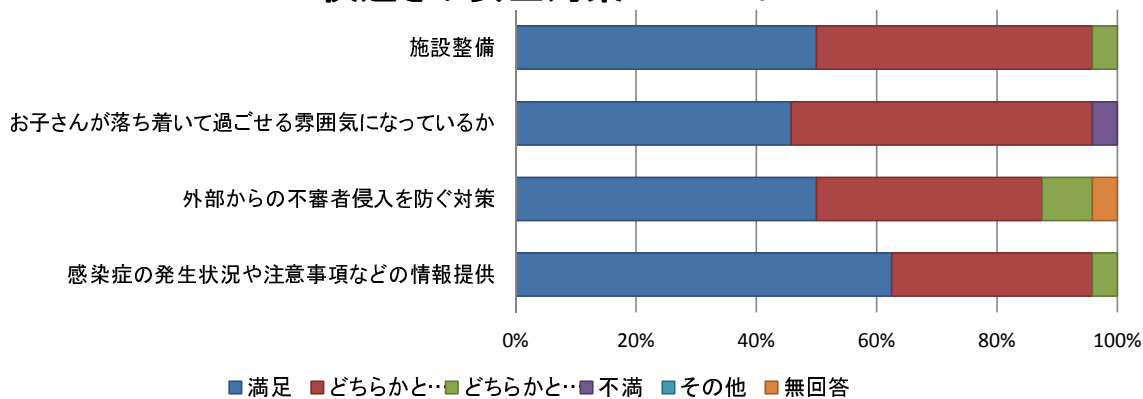
【その他】

基本的生活習慣（衣服の脱着、手洗いなど）の自立に向けての取組	その他:外遊びがない日に着替えがないのはなぜですか？
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているか	その他:入園時からおむつはずしていましたが(3名)。まだ始まっていないためわからない。無理強いをする先生もいた、嫌味っぽい。
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	その他:ないことも多い、子供から聞いたり気づいて聞く事もある。説明がないときが多々ある。

問5 保育園の快適さや安全対策などについてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
施設整備	50.0%	45.8%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているか	45.8%	50.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
外部からの不審者侵入を防ぐ対策	50.0%	37.5%	8.3%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供	62.5%	33.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	52.1%	41.7%	4.2%	1.0%	0.0%	1.0%	100.0%

快適さや安全対策について



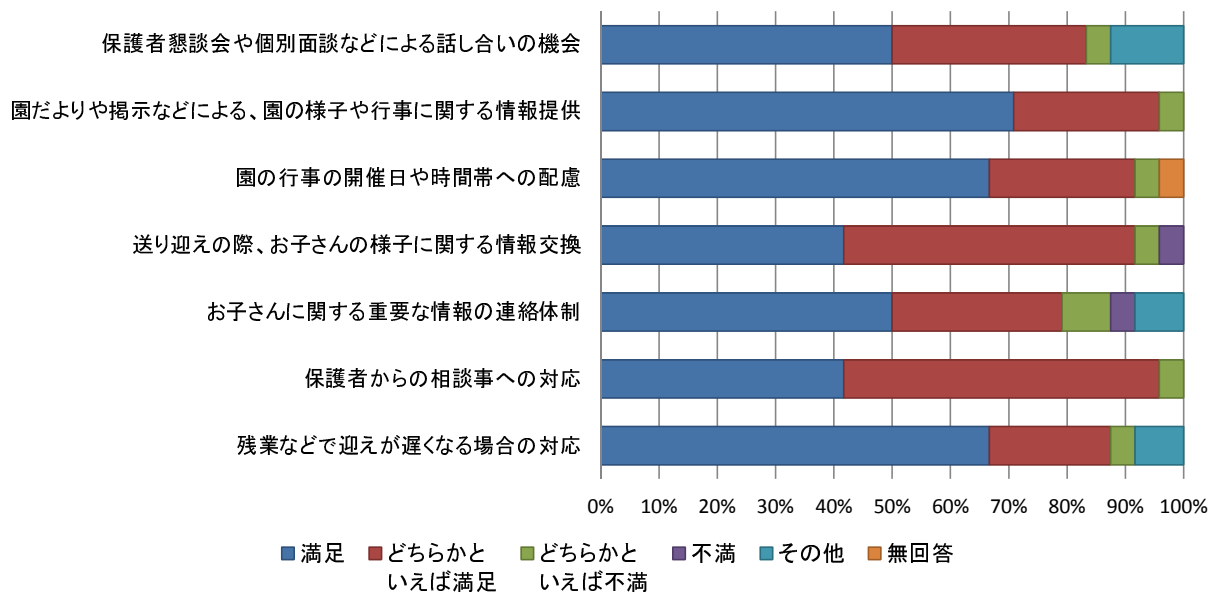
【その他】

外部からの不審者侵入を防ぐ対策	その他:保護者の友人が1人で来た時も鍵をあけていた「私、お帰りなさいって言われちゃった～」と笑って話していたがそれで良いのか？
-----------------	---

問6 園と保護者との連携・交流についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会	50.0%	33.3%	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%	100.0%
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供	70.8%	25.0%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
園の行事の開催日や時間帯への配慮	66.7%	25.0%	4.2%	0.0%	0.0%	4.2%	100.0%
送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換	41.7%	50.0%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
お子さんに関する重要な情報の連絡体制	50.0%	29.2%	8.3%	4.2%	8.3%	0.0%	100.0%
保護者からの相談事への対応	41.7%	54.2%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
残業などで迎えが遅くなる場合の対応	66.7%	20.8%	4.2%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	55.4%	33.9%	4.8%	1.2%	4.2%	0.6%	100.0%

園と保護者の連携・交流について



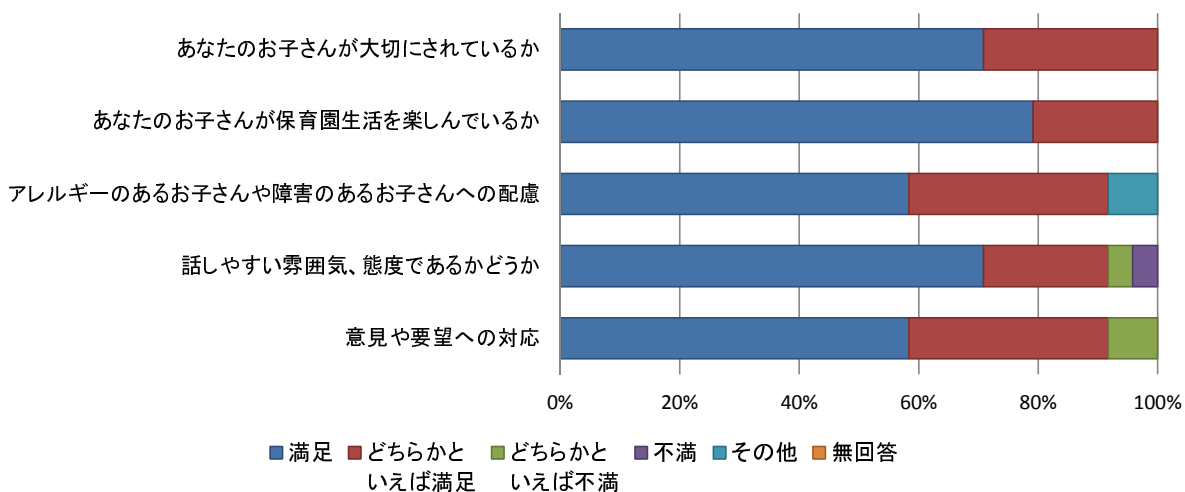
【その他】

保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会	その他:時間がとれないので面談をしていない。開始時間が早い為出席できていない。あまり参加出来ていない。(2名)
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	その他:開催日や集合時間がよく変わるなと思う。
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	その他:質問が抽象的なため、わからない。ないこともある。
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるあんど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	その他:あまりそのような機会はない。遅れたことがない。

問7 職員の対応についてうかがいます。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
あなたのお子さんが大切にされているか	70.8%	29.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しているか	79.2%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮	58.3%	33.3%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	100.0%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうか	70.8%	20.8%	4.2%	4.2%	0.0%	0.0%	100.0%
意見や要望への対応	58.3%	33.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
合計	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	合計
	67.5%	27.5%	2.5%	0.8%	1.7%	0.0%	100.0%

職員の対応について

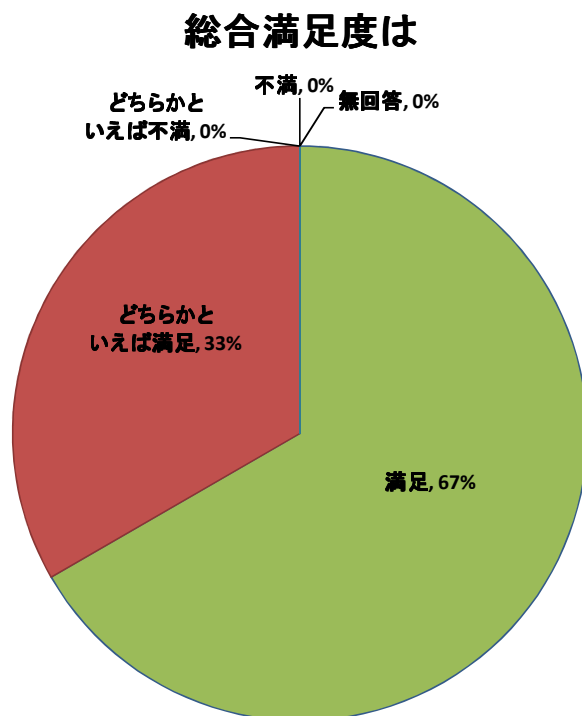


【その他】

アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	その他: 不明。自分の子が該当しないので分からない。
---------------------------------	----------------------------

問8 保育園を総合的に評価すると、どの程度満足していますか。

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	合計
総合満足度は	67%	33%	0%	0%	0%	100.0%



利用者本人調査

■調査対象

園全体の在籍数：54名

0歳児クラス：0名 1歳児クラス：8名 2歳児クラス：10名

3歳児クラス：12名 4歳児クラス：12名 5歳児クラス：12名

■調査概要

《1歳児クラス8人》

登園時、保護者に手を振って別れた後、靴下を脱いで片付けの上手な子、なかなか進まない子がいますが、一人ひとりが1歳児の専用のスペースに到着するまでは、大きな子と接触事故が起きないように保育士は優しく見守っています。広い円形のフロアの一部をままごとキッチンや本棚など低い間仕切りでスペース確保しているため、1歳児が顔上げればフロア全体を見わたすことができます。朝の自由遊びでは、車や電車を床のテープを線路に見立てて走らせたり、積み木遊び、絵本読みや人形遊び、ままごとなど各々好きな玩具や絵本を取り出して遊び始めています。

大きな子どもたちの朝の会が始まり大きな歌声が聞こえると、笑顔を向ける子、立ち上がって目を輝かせて見つめる子、間仕切りを超えそうになりながら一緒に歌い手を振る子とさまざまです。座禅、雑巾がけ、年齢別に分かれてのお話など、大きな子どもたちの様子には目を凝らして見つめる子がほとんどです。

午前中は保育士を囲んでテーブルに座っていました。柱の陰のテーブルは集中できる環境でした。子どもたちは保育士の説明をよく聞いています。保育士は「一緒にみようね」「みんなもできるかな?」「やってみて」などと話しかけていました。

絵本の読み聞かせでは、保育士が感情を入れて体全体を使って表現しながら読み聞かせをしていました。子どもたちは、興味津々に聞いていました。目を輝かせ絵本の世界に引き込まれていました。絵本に集中する子どもが、声を上げ、手をたたいていましたが、子どもが楽しみながら自由に表現するようにしていました。

子どもたち一人ずつをトイレに誘導する時、保育士が子どもにそっと声を掛け、トイレの扉の隣の椅子に座らせました。保育士が連携よく動いており、保育に流れがありましたので他の子どもたちの興味をそらすことなく集中していました。個人差が顕著でしたが、保育士は終始笑顔でした。

隣の大きなフロアから興味のある音楽が流れて来たりすると、お兄さんお姉さんを見上げるような眼差しで見えていました。間仕切りはあっても無いがごとしに立ち上がり、歌に合わせてイエーと大声で手をパッチンし、帰りの歌では大きい子たちに合わせてお辞儀を繰り返し手遊び・歌遊びに夢中に参加しています。

《2歳児10人・3歳児12人・4歳児12人・5歳12人の合同クラス》

お正月の書初めは子どもが好きな言葉で「さっかあせんしゅになる」「おとなになったらアイドル」「ろぼとおつくるひと」など鏡文字も交えて願いを書いて天井から展示してあります。ロフトの中二階のボルタリング壁の足元にはマットが敷いてあり、自由遊びの時間には3～5歳児の数

人がグループで遊んでいます。ロフトは女の子たちのごっこ遊びの場所にもなっています。

【朝の会】

登園した子どもたちは、靴をしまい脱いだジャケットや靴下は丸くたたんで自分のクラスの仕切りのある箱に収納しています。保育士の紙芝居に向かって体育座りで集まり朝の会が始まります。出席確認では子どもたちは名前を呼ばれると手を上げながら返事をしています。次に白板の〇月〇日〇〇曜日に5歳児が数字や文字を入れた後、クイズ形式で天気の情報マークや雨マークを貼り付けて日にちを確認します。座禅を組むために子どもたちはフロア全体に広がって胡坐で座り姿勢を正し目を閉じて手を仏さまのように置いて1分間程の間、瞑想して呼吸を整えます。保育士はそっと子どもの姿勢を正し、手の位置を指導しています。座禅が終わるとうちわ絵を持った年齢別の数人が壇上に上がり合唱をリードします。曲目が替わるとリードする子が増えたり減ったり自由に変わっています。雑巾をたらいで絞って、タッタタと雑巾がけをします。長い距離を取って走る子やロフトへのらせん階段や手すりを拭く子とさまざまに雑巾がけを終えると絞った雑巾を干して朝の会を終了します。朝の会が終わると身支度や靴を履いて散歩の準備になります。

【散歩】

内側に2・3歳児と外側に4・5歳児が並び手を繋いでいます。ビルのバックヤードのエレベーターを使って1階に出る途中、同じビルのテナントの人たちと行き会すと、子どもたちから「おはようございます」と口々に挨拶しています。保育士も元気に挨拶しており、特に挨拶しない子を注意することはありません。ビルの正面は駅前のロータリーで、足早に急ぐ人にも目が合うと挨拶の言葉かけをしています。道路を横切る時や横断歩道では必ず止まり安全確認をして、後ろの子たちを振り返り待ち、保育士の合図で渡り始めています。途中、梅の花を見たり香りをかいだり、ゴツゴツした樹木を触ったり季節を話題に話しながら進む時にも小さい子と大きい子をつないだ手を放しません。途中、切り株に夢中になった小さい子に大きい子は付き合っていてあげていました。歩道のない道で対向車が来た時には、「壁ドン」と口々に内側の扉に寄って車をやり過ごします。

公園に到着すると、全員体育座りで保育士の話を聞きます。「公園にいる他の園のお友達はみんなより大きい、小さい？」に「小さい」と元気に答えています。他の園の乳児と接触事故が起きないように、保育士から今日使える遊具がブランコとジャングルジムと発表されて、遊びが始まりました。ブランコの順番の歌を歌って数を数えて次の子どもと交替します。木の葉が深い庭に入りガサゴソ音を楽しむ子が一人二人と増えて、木の枝を拾い集めて他の子と比べる子、木の実を拾いポケットにつめる子、それぞれの遊びに夢中になっています。鬼ごっこが始まり、熱くなったのか汗をかいてジャケットを次々脱ぎだしています。園に戻ると、手を洗い、水分補給をしてから昼食の準備になりました。

【昼食】

2歳から5歳は合同で給食を食べています。今日のお当番は、保育士が一人分ずつ盛り付けたお皿やコップをテーブルに運びます。こぼさないように、ゆっくり歩き配っています。箸やフォークもテーブルごとに人数を数えて、配っていました。テーブルには色々な年齢の子が座っており、食事の挨拶後は、友だちや保育士と色々な話をしながら楽しく食事しています。おかわりをどんどんする子もいます。「おいしいよねー。もっとおかわりするんだ」という子がいる中で、なかなか食が進まない子には保育士が隣に座って「もう少し食べてみる？頑張ってみる？」などと声を掛けています。大きな口を開けて一口で食べる子もいました。食べ終わると、食器は全て自分でワゴンまで運び同じ器を重ねて片付けます。皆でごちそう様をした後は、歯磨きをしてから、布団を敷きはじめました。

【思い出の絵を描く】

4歳児は担任の保育士と椅子を持って集まり1年間を振り返っています。「5月は何をしたかな」の保育士の言葉に「こいのぼり」「種まき」「どろんこ」など次々思い出し、季節を進める中で、子どもたちが思い出した事を保育士が書き留め、子どもたちは画用紙に楽しそうに思い出を描いています。

事業者コメント

第三者評価は、日頃取り組んでいる保育内容および運営全般について外部からの視点で気づきを得る非常に有効な取り組みであると認識しています。

ここで明らかになった課題、成果、問題点などを職員及び法人全体で共有し、より一層質の高い保育サービスの実践のためにどんな取り組みが必要か、具体的なアクションにつなげてゆきたいと考えています。



Move Forward with Confidence

ビューローベリタスジャパン株式会社 福祉評価部

〒106-0041 東京都港区麻布台 1-7-2 神谷町サンケイビル 7F

TEL : 03-5573-8686 FAX : 03-3505-3389
